

Oh!Me

オー!ミー

インターネットと連動した
【滋賀生活情報紙】



新毎日 新聞日

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

滋賀ガイド www.gaido.jp

vol.298・12月17日号 毎週木曜発行 **4面にプレゼント情報!**

●Oh!Me編集室/株式会社ヤマブラ:近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927
●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603
●発行/毎日新聞大阪本社開発宣伝部:大阪市北区梅田3-4-5 発行部数:100,000部

子どもをあやす母親の姿……。暮らしの中でふと「人っていいなあ」と感じる瞬間がある。高校教師でもある吉居寛子さんはそんな姿を作品にしている彫刻家だ。自分と向き合い孤独と戦う中からたどり着いた作風は、見る人を安らぎの世界に導いてくれる。

モチーフは暮らしの中に

モデルに「ポーズを作らせる」彫刻作家は多い。ポーズに凝った方が賞が取りやすいからだ。だが、吉居さんは違う。あくまでも人間の生活や感情など、自分がいいと思えるものにこだわって作品を作り続けている。

日々の暮らしの中でふと垣間見る「いいと思える瞬間」。例えば、子どもを片手で抱いてあやしなから、もう一方の手で家事をする母親の姿などがモチーフだ。見る人の心の中は温かいもので満たされる。84(昭和59)年に日展に初入選、20年かけて念願だった特選にも選ばれた。内に秘めた緊張感や孤独を女性の姿で表現した「Prelude」だ。08(平成20)年には自分自身としっかり向き合う女性を表した「奏一碧いノクターン」が2度目の特選に入選、日展の委嘱作家となった。高校の美術教師でもあり、滋賀県内で行われる美術展の審査員も務めている。

孤独に耐え自分と向き合う

教師をしているため、制作時間は学校が休みの日か夜中になることが多い。自分のアトリエができたのは10年前。



第40回日展特選
「奏一碧いノクターン」

それまでは学校の教室を借りていた。放課後でも生徒がいるとざわざわして落ち着かないので夜に作業することが多かった。子どもが小さいころは子育てにも追われた。アレルギー体質の子どものために卵や牛乳などの除去食を作らなければならず、外食もできない。粘土に触る時間がなくて焦ったこともあった。そんな吉居さんを支えたのは家族や周りの人たちの協力と、作品を発表し続けよ

うという強い思いがあった。創作中は教師でもなく、妻や母でもない自分でいられる時間。自分と向き合い、孤独と戦いながら作品世界を深めていった。「次こそは特選をという周りの期待がとてもプレッシャーで、最後は自分との戦いでした」と吉居さんは振り返る。



「まなざし」のデッサン(左)と彫刻作品

いいと思える瞬間を感じて 「姿」を彫刻する



彫刻家 **吉居寛子さん**
(48歳・長浜市在住)

作品の存在感に魅了される

高校時代は美術部で主に油絵を描き、大学ではデザインを学んでいたが、先輩に誘われ彫塑のアトリエを訪れたのが転機となった。彫刻作品の存在感に魅了されたのだ。「彫刻は表現が直接的で、頭の中だけでなく手の中でも思考しているような感覚が自分に合っていると思いました」いつの間にか毎日のようにアト

リエに通い始め、本格的に彫刻の勉強をするようになった。

楽しさ広めたい

彫刻は指導者が欠かせず、場所や道具など必要だ。始めたいと思ってもなかなか1人ではできない。デザインに比べて彫刻をしている人は少ない。吉居さんの夢は、1人でも多くの人に彫刻の楽しさを知ってもらいたいことだ。

(取材・澤井) 詳しくは www.gaido.jp/2981



解決は、まず電話から。 法的トラブルなら、法テラスへ。



0570-078374

【夜間・土曜日もどうぞ】 平日9:00~21:00 土曜日9:00~17:00 犯罪被害者支援ダイヤル **0570-079714**

「法テラス」は国が設立した公的な法人です。



<http://www.houterasu.or.jp> 法テラス 検索

